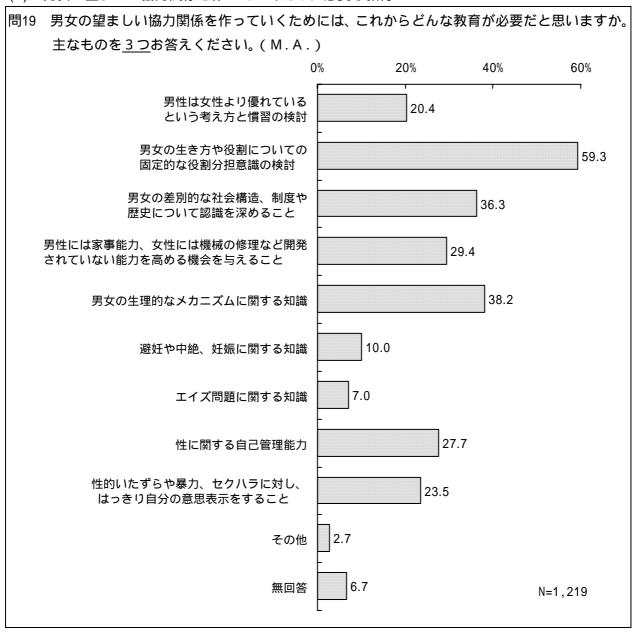
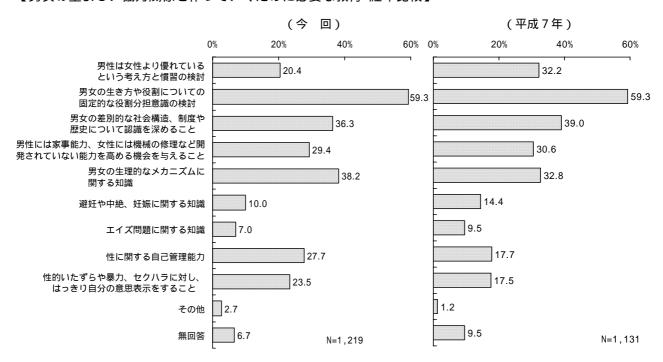
(7) 男女の望ましい協力関係を作っていくために必要な教育



男女の望ましい協力関係を作っていくために必要な教育については、「男女の生き方や役割についての固定的な役割分担意識の検討」が59.3%と6割近くの人があげている。以下、「男女の生理的なメカニズムに関する知識」38.2%、「男女の差別的な社会構造、制度や歴史について認識を深めること」36.3%、「男性には家事能力、女性には機械の修理など開発されていない能力を高める機会を与えること」29.4%、「性に関する自己管理能力」27.7%と続く。

平成7年の調査結果と比較してみると、「男性は女性より優れているという考え方と慣習の検討」 (平成7年:32.2% 今回:20.4%)は約1割減少しているが、「性に関する自己管理能力」(平成7年:17.7% 今回:27.7%)、「性的いたずらや暴力、セクハラに対し、はっきり自分の意思表示をすること」(平成7年:17.5% 今回:23.5%)は増加している。

【男女の望ましい協力関係を作っていくために必要な教育 経年比較】



【性・年代別 男女の望ましい協力関係を作っていくために必要な教育】

(%)

		N	男性は女 性より れていう という え方 検討 習の 検討	男女方割での生きをおいます。男女方のやつのではいいないのはののはいいではいいない。 のいっと おいい おいい おいい かい おいい かい か	男女的構造を開始のなりのなりでは、というでは、というでは、というでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	男家力にのどれい高会るに事女機理発い力る与とは能性械なさなを機え	理的なメ カニズム に関する	避妊や中 絶、妊娠 に関する 知識	エイズ問 題に関す る知識	性に関す る自己管 理能力	性ずカハしきの示こいやをしいいりでは自思すいのではいいのでといいのできる。	その他	無回答
全	体	1219	20.4	59.3	36.3	29.4	38.2	10.0	7.0	27.7	23.5	2.7	6.7
	男性小計	534	19.3	59.6	38.6	28.3	38.2	8.8	4.5	26.0	22.8	3.7	7.1
	20代	45	31.1	66.7	37.8	20.0	33.3	17.8	4.4	35.6	33.3	-	-
	30代	63	15.9	50.8	28.6	28.6	44.4	11.1	6.3	23.8	31.7	12.7	4.8
	40代	76	19.7	61.8	36.8	19.7	40.8	15.8	5.3	35.5	21.1	5.3	2.6
	50代	117	15.4	62.4	47.0	30.8	47.0	6.8	3.4	25.6	18.8	2.6	4.3
₩-	60代	135	14.8	58.5	39.3	31.9	32.6	7.4	4.4	18.5	25.9	3.0	9.6
性	70代以上	93	26.9	59.1	35.5	32.3	33.3	2.2	4.3	26.9	14.0	1.1	14.0
年代	女性小計	648	21.5	59.6	34.7	30.1	38.9	11.3	8.8	29.9	24.2	2.0	5.4
	20代	46	21.7	58.7	30.4	34.8	28.3	23.9	15.2	39.1	19.6	2.2	-
	30代	82	19.5	59.8	35.4	37.8	37.8	12.2	3.7	35.4	24.4	1.2	2.4
	40代	80	27.5	61.3	35.0	37.5	43.8	12.5	3.8	26.3	27.5	3.8	1.3
	50代	175	18.9	65.7	41.7	29.1	46.3	8.6	6.9	32.6	22.3	1.7	3.4
	60代	149	22.1	57.7	27.5	24.8	42.3	11.4	10.7	28.9	27.5	1.3	6.0
	70代以上	114	21.9	50.9	35.1	25.4	24.6	8.8	14.0	21.9	21.9	2.6	14.9

性・年代を問わず、「男女の生き方や役割についての固定的な役割分担意識の検討」が最も高くなっているが、男性30代で50.8%、女性70代以上で50.9%と、他の年代に比べてやや低くとどまっている。50代では男女ともに「男女の差別的な社会構造、制度や歴史について認識を深めること」(男性:47.0%、女性:41.7%)、「男女の生理的なメカニズムに関する知識」(男性:47.0%、女性:46.3%)をあげる人が多くなっている。